



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月13日

上場会社名 不二サッシ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5940 URL <http://www.fujisash.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勉

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営管理部長 (氏名) 塩原 和己

TEL 03-6867-0777

四半期報告書提出予定日 2020年3月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	60,787	2.0	△1,899	—	△1,830	—	△2,015	—
2019年3月期第3四半期	59,585	0.3	△1,591	—	△1,702	—	△2,116	—

(注)包括利益 2020年3月期第3四半期 △1,674百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △2,252百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△15.98	—
2019年3月期第3四半期	△16.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	102,918	18,121	17.5	142.61
2019年3月期	90,832	19,985	21.9	157.40

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 17,987百万円 2019年3月期 19,852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	1.8	1,100	34.0	1,100	16.9	800	29.9	6.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	126,267,824 株	2019年3月期	126,267,824 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	139,188 株	2019年3月期	137,370 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	126,129,593 株	2019年3月期3Q	126,131,695 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.02「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループ(当社及び連結子会社)の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、貸家を中心に新設住宅着工戸数は減少が続いており、先行き不透明な状況です。形材外販事業においては、物量は増加したものの、アルミ加工品の売上減少や諸資材価格上昇の影響により厳しい事業環境となりました。環境事業は、概ね計画通りに進捗しております。

このような状況の下、当社グループは、日本防水工業株式会社及び日本スプレー工業株式会社の株式を取得したことにより、リニューアル事業を拡充し収益の拡大を図っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高607億8千7百万円(前年同四半期比2.0%増)、営業損失18億9千9百万円(前年同四半期は営業損失15億9千1百万円)、経常損失18億3千万円(前年同四半期は経常損失17億2百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失20億1千5百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失21億1千6百万円)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

〔建材事業〕

建材事業においては、連結子会社の増加に加え、住宅建材事業は高断熱商品拡販により堅調に推移し、売上高は409億5千7百万円(前年同四半期比4.9%増)と増収になりましたが、ビル建材事業における商品開発投資による固定費増加等によりセグメント損失9億6千8百万円(前年同四半期はセグメント損失5億7千8百万円)と減益になりました。

〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、厳しい競争による市場価格の低迷やアルミ加工品の売上減少などから、売上高は157億9千7百万円(前年同四半期比5.2%減)、セグメント損失1億3千2百万円(前年同四半期はセグメント損失7千3百万円)と減収減益になりました。

〔環境事業〕

環境事業においては、市場の変化による事業環境の厳しさが増しておりますが、営業力及びプロセス管理を強化したことなどにより、売上高は22億5千8百万円(前年同四半期比6.8%増)、セグメント利益8千万円(前年同四半期はセグメント利益2千4百万円)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結累計期間における流動資産は646億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ110億7千6百万円増加いたしました。これは主に仕掛金が148億円、その他が20億3百万円増加し、受取手形及び売掛金が55億8千1百万円、電子記録債権が5億7千万円減少したことによるものであります。固定資産は382億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億9百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が3億5千5百万円、無形固定資産が2億6千1百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は1,029億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ120億8千5百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結累計期間における流動負債は578億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ131億4千万円増加いたしました。これは主に前受金が140億1千万円増加し、支払手形及び買掛金が6億1千万円、短期借入金が7億9千7百万円減少したことによるものであります。固定負債は269億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億9百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が8億6千2百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は847億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ139億5千万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間における純資産合計は181億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億6千4百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が22億5百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は17.5%(前連結会計年度末は21.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることから、2019年5月15日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,938	14,286
受取手形及び売掛金	18,108	12,526
電子記録債権	4,624	4,053
商品及び製品	1,281	1,316
仕掛品	11,693	26,493
原材料及び貯蔵品	2,723	2,781
販売用不動産	369	309
その他	1,546	3,549
貸倒引当金	△678	△634
流動資産合計	53,606	64,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,178	38,604
減価償却累計額及び減損損失累計額	△30,726	△31,113
建物及び構築物(純額)	7,451	7,490
機械装置及び運搬具	41,496	41,363
減価償却累計額及び減損損失累計額	△36,219	△35,966
機械装置及び運搬具(純額)	5,276	5,396
土地	13,352	13,685
リース資産	2,392	2,408
減価償却累計額	△846	△978
リース資産(純額)	1,545	1,430
建設仮勘定	399	315
その他	11,758	11,650
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,822	△10,651
その他(純額)	935	998
有形固定資産合計	28,962	29,317
無形固定資産		
のれん	—	290
その他	330	301
無形固定資産合計	330	591
投資その他の資産		
投資有価証券	2,358	2,746
長期貸付金	329	345
繰延税金資産	4,010	3,853
その他	2,142	2,254
貸倒引当金	△908	△873
投資その他の資産合計	7,933	8,325
固定資産合計	37,225	38,235
資産合計	90,832	102,918

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,648	16,038
電子記録債務	5,322	5,908
短期借入金	12,499	11,702
1年内償還予定の社債	600	420
リース債務	245	243
未払法人税等	209	302
前受金	5,619	19,629
工事損失引当金	339	616
その他	3,233	2,998
流動負債合計	44,718	57,858
固定負債		
社債	2,900	2,820
長期借入金	5,613	6,476
リース債務	1,452	1,340
繰延税金負債	29	32
再評価に係る繰延税金負債	413	413
退職給付に係る負債	15,081	15,260
資産除去債務	297	265
その他	339	329
固定負債合計	26,128	26,937
負債合計	70,846	84,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	816	816
利益剰余金	16,680	14,474
自己株式	△15	△15
株主資本合計	19,190	16,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	624	824
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,505	1,505
為替換算調整勘定	△425	△410
退職給付に係る調整累計額	△1,043	△917
その他の包括利益累計額合計	661	1,001
非支配株主持分	133	134
純資産合計	19,985	18,121
負債純資産合計	90,832	102,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	59,585	60,787
売上原価	51,170	52,287
売上総利益	8,415	8,499
販売費及び一般管理費	10,006	10,399
営業損失(△)	△1,591	△1,899
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	73	86
受取保険金	5	14
受取賃貸料	27	35
持分法による投資利益	45	20
電力販売収益	112	109
保険解約返戻金	0	96
その他	66	86
営業外収益合計	343	461
営業外費用		
支払利息	187	193
手形売却損	8	7
電力販売費用	104	104
為替差損	28	20
その他	125	65
営業外費用合計	454	391
経常損失(△)	△1,702	△1,830
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	12	—
補助金収入	4	3
負ののれん発生益	14	—
特別利益合計	33	5
特別損失		
固定資産売却損	6	8
固定資産除却損	1	1
固定資産圧縮損	4	3
訴訟関連損失	270	—
その他	21	6
特別損失合計	304	19
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,973	△1,844
法人税等	135	168
四半期純損失(△)	△2,108	△2,012
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	3
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,116	△2,015

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△2,108	△2,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△309	200
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	15	12
退職給付に係る調整額	149	125
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	△143	337
四半期包括利益	△2,252	△1,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,256	△1,675
非支配株主に係る四半期包括利益	4	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	39,032	16,670	2,115	57,818	1,766	59,585
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	5,431	—	5,446	1,823	7,269
計	39,047	22,102	2,115	63,265	3,590	66,855
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△578	△73	24	△627	215	△411

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△627
「その他」の区分の利益	215
セグメント間取引消去	102
全社費用(注)	△1,282
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,591

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	40,957	15,797	2,258	59,013	1,773	60,787
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	5,279	—	5,291	2,092	7,384
計	40,969	21,076	2,258	64,305	3,866	68,171
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△968	△132	80	△1,020	293	△727

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,020
「その他」の区分の利益	293
セグメント間取引消去	114
全社費用(注)	△1,286
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,899

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

建材事業セグメントにおいて、2019年5月8日に日本防水工業株式会社及び日本スプレー工業株式会社が新たに連結子会社となっております。

これに伴うのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては290百万円であります。

なお、のれんの増加額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額であります。